

宇部市 コミュニティ・スクールだより No.2

令和4年度

地域学校協働活動の推進

令和4年度も、早2か月が経過しました。各校では第1回目の学校運営協議会において、学校運営方針が共有され、地域・学校協働による学校づくりが始まっています。一方、地域では、各ふれあいセンターにおいて、第1回目の社会教育推進委員会（社教推）が開催され、地域学校協働活動（協働活動）をどう進めるかについて協議され、学校づくりと地域づくりの一体的な推進が進められているところです。そこで、本号では協働活動の推進について、特色ある活動をされている万倉地区社教推の取組について紹介します。

1 地区内全域で協働活動に関する意識調査実施

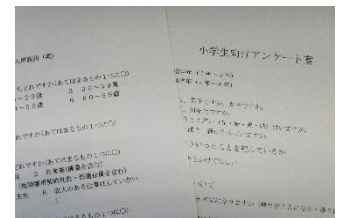
万倉地区では、昨年度第1回目の社教推で、子どもを含めた若者を対象とした協働活動を展開することが、持続可能な地域づくりにつながるとの方向性が見出されました。そのために、全ての住民を対象とした意識調査を実施する方向で話が進みました。



2 子どもも高齢者も巻き込む協働活動

第2回目社教推では、地区住民約1200人、高齢化率47%、一人暮らし27%という現状を考慮した場合、子どもを要所要所に巻き込みながら高齢者の参加も考慮した意識調査とする方向で調査内容が検討されました。

第3、4回社教推では、小学生部会、中・高生部会、大人部会の3部会に分かれ、質問内容と実施方法が協議されました。小中学生は学校へ協力依頼、高校生、大人は全戸配布の方法で2月1日調査開始とすることが決まりました。



3 調査内容の検討、そして協働活動の更なる推進

第5回社教推では、調査結果の共有と協働活動の更なる推進に向け協議されました。

- (1) 野菜の栽培、販売等の体験活動、赤間硯を活用した習字教室、岩戸神楽の奉納等、万倉の自然、文化伝承を中心とした活動は継続すると共に活動の幅も拡大したい。住民の41%の方が活動への参加意思を示されており、活動の幅と共に、参加者の拡大につなげていきたい。
- (2) キャンプや竹細工、郷土カルタ等新たな活動が可能であるが、学校業務に支障をきたすことがないよう学校との連携の下、進めていきたい。
- (3) 現在、ふれあいセンターで実施している、趣味、スポーツ、教養等の社会教育活動について、児童生徒対象に見学会を開催し、将来的な加入につなげたい。

上記の通り、万倉地区社会教育推進委員会では、万倉地区の特色を生かしつつ、住民のニーズに応じた地域学校協働活動を展開し、子どもとの交流を深めると共に、大人の生きがいの創出、持続可能な地域づくりに向けて活動を進めておられます。